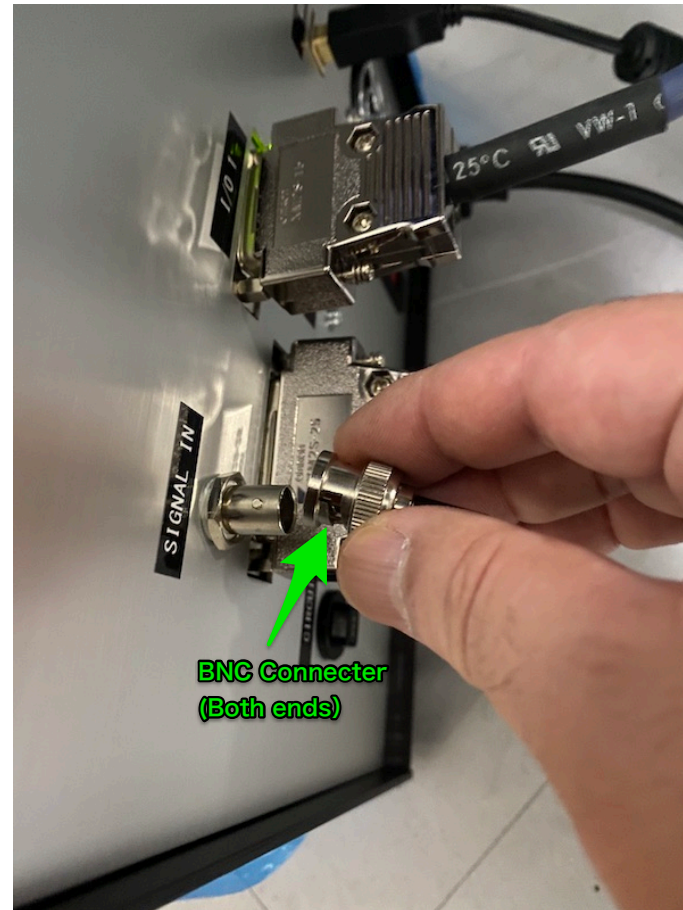


# IPラウエカメラの部品交換前 の確認作業

この作業ではX線装置は使いません。  
IPラウエカメラとパソコンのみ使用します。

- 1、電源OFFの状態カメラとコントロールボックスの同軸ケーブルのBNCコネクタのみを外します。  
(両端とも外してください)



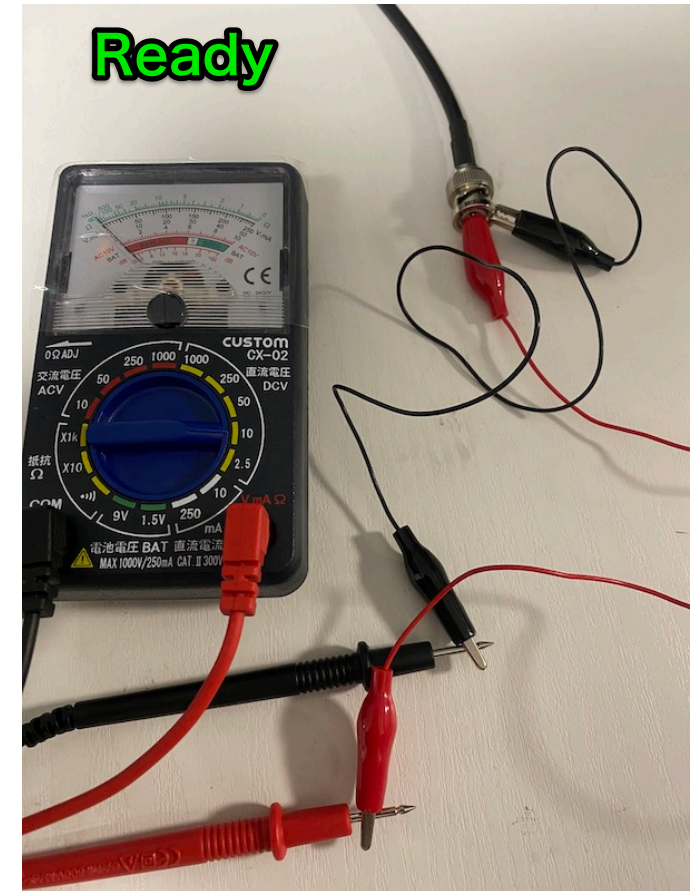
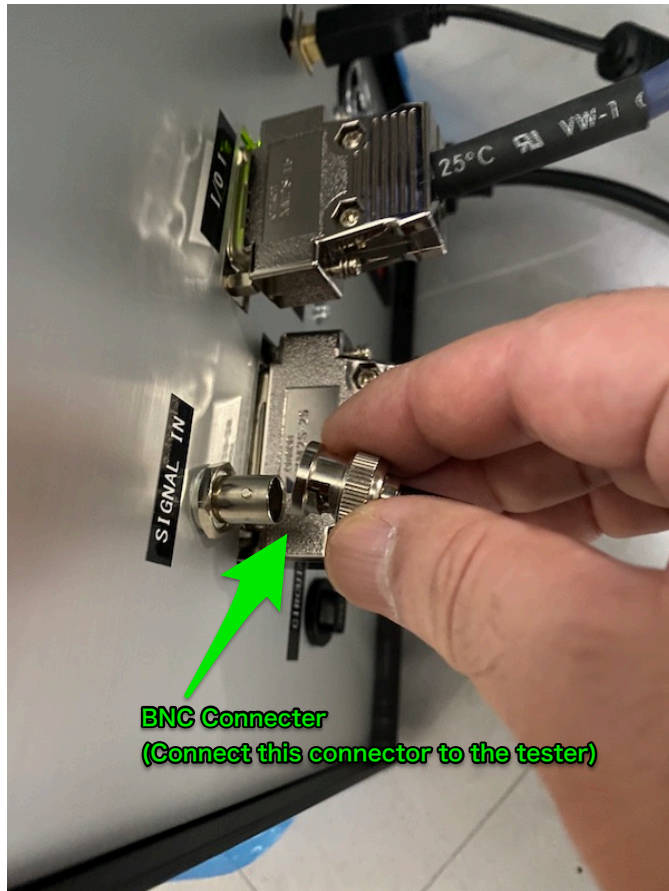
- 2、もう1度しっかりとBNCコネクタを接続します。（両端とも）
- 3、電源をONにして、PCとIPX-Rayソフトウェアを立ち上げてください。（通常起動）
- 4、カメラ側のIPに意図的に光が当たるようにカバーをあけてください。  
なるべくIPに光が当たるように意図的にライトなどをつけてください。  
（遮光をしない）
- 5、読取を開始してください。
- 6、黒い画像が取得できれば、それは正常です。
- 7、もし、白い画像を取得した場合は以下の手順の作業を行なってください。

この結果のデータを私に連絡をください。(Wechat OK)

8、まずテストとリード線を準備してください。

(約5Vの直流電圧を測定するテストです)

9、コントロールボックスの同軸ケーブルのBNCコネクタのみを外して、中心のピンに”+”を接続してください。次にハウジングに”-”を接続してください。



- 10、カメラ側のIPに意図的に光が当たるようにカバーをあけてください。  
なるべくIPに光が当たるように意図的にライトなどを照射してください。  
(遮光をしない)
- 11、この状態で”Capture” “Start”をしてください (通常起動)
- 12、Capture中、約4V-5Vの電圧がかかればカメラは正常です。  
(読取中に完全に遮光すると0Vになります)
- 13、もし0Vである場合ラウエカメラ側の断線や故障が考えられます。
- 14、この時の電圧値を私に連絡ください。

15、次にテスタで抵抗を測定してください。



16、もしどんなレンジでも0Ωや絶縁の場合はラウエカメラ側の断線が考えられます。

以上までの連絡をください。

部品取り外し手順は非常に複雑になり、さらなる故障リスクを伴いますので次回慎重に記述します。

以上